

枚方市の通級指導教室

令和5年度 枚方市支援教育リーディングチーム
学校教育部 教育支援室 児童生徒支援課

沿革

- 昭和49年度 さだ西小学校に難聴学級を設置（センター校方式）
- 昭和51年度 さだ西小学校に言語障害学級を設置 「きこえの教室」・「ことばの教室」と呼び始める
- 昭和52年度 両教室で協力して、他校からの通級児童受け入れを試行**
- 昭和54年度 「ことばの教室」を枚方第二小学校に移設。同年から「きこえの教室」と「ことばの教室」による通級制度が、市教育委員会を通じて全小学校に周知される。
- 昭和55年度 「きこえの教室」と「ことばの教室」は、通級方式中心の学級として運用されるようになる
- 昭和56年度 「きこえの教室」を枚方小学校に移設
- 昭和61年度 長尾小学校にも「ことばの教室」を設置
- 昭和62年度 教育文化センター開設。聴能訓練室と言語訓練室を設置し、「きこえの教室」と「ことばの教室」の拠点として運用を開始する。
- 平成元年度 「きこえの教室」を高陵小学校に移設
- 平成2年度 難聴学級と言語障害学級による通級及び巡回指導の制度を確立するよう大阪府を通じて国へ要望する。
- 平成4年度 高陵小学校が文部省「通級学級に関する調査研究協力校」に指定される。
- 平成5年度 「通級による指導」が法制化される**
- 平成8年度 第一中学校に難聴通級指導教室を新設
- 平成12年度 小学校「きこえの教室」を磯島小学校に移設
- 平成18年度 発達障害等の指導も通級による指導の対象に含む

以降、市内に通級指導教室を増やし現在に至る

枚方市では、国による通級指導法制度化よりずっと昔から、原学級保障を実現する通級方式に力を入れてきた歴史があります。

昭和59年度 難聴学級の時間割

午前中には自校の支援学級在籍
児童への指導(入り込み含む)

午後からは他校児童への通級指導を実施

3. 難聴学級 時間割

		月	火	水	木	金	土									
1	8:50	学校訪問 / 教材準備	はいりこみ指導	保護者懇談 / 教材準備	木教材準備	学校訪問 / 出張授業	教材準備									
	9:35						はいりこみ指導									
2	9:40		教材準備		はいりこみ指導		教材準備	出張授業	はいりこみ指導							
	10:25								教材準備							
3	10:45	教材準備	通級指導	研 修	通級指導	通級指導	/									
	11:30							通級指導								
4	11:40		通級指導		通級指導			通級指導	通級指導	通級指導	/					
	12:25											通級指導				
5 2:00~			通級指導		通級指導			研 修	通級指導	通級指導	/					
6												通級指導	通級指導	通級指導	通級指導	/
7																
8												通級指導	通級指導	研 修	通級指導	通級指導

令和5年度通級指導教室設置校について



- ・ 小学校は44校中20校に設置
(右図参照)
- ・ 中学校は全19校に設置

通級指導教室の自立活動で指導したいこと

- 指導したいことは個に応じて様々ですが、大きく分けると

通常の学級での授業の参加
を助ける指導

今、子どもが持つ力で日々の
学習に参加するための指導。

こちらは、通常の学級
担任や支援員との連携
が重要になる部分。身
につけたスキルを活用
するための指導。

障害による困難を
改善するための指導

言語力、コミュニケーション力な
ど基礎的な力を伸ばすための指導

こちらは、通級など「特別な場」で
の指導が効果を発揮しやすい部分。

通級指導教室

通常の学級に在籍

通常の学級での学習におおむね参加できるが、
一部「特別な指導」を必要とする児童・生徒が対象

学習面や生活面での困りごとを改善し、自立を助けるために必要な力をつけるため「自立活動」を主に行う

週に1時間から8時間

年度途中から指導を受けることや、課題が改善した段階で通級による指導を終了することが可能

対象児童・生徒13人に対して、教員1人を配置

支援学級

支援学級在籍

障害のある児童・生徒一人一人の教育的ニーズに応じた「特別の教育課程」を編成

当該学年や下学年の教科の目標や内容、知的障害特別支援学校の教科の内容を目標として設定
「自立活動」を必ず行う

授業時数は個々の障害の状態に応じて設定

年度途中から在籍することは原則できない

児童・生徒8名までは1名の支援学級担

令和5年度 通級担当者研修（予定を含む）

・第1回 4月7日(金)

講義・実践交流、ブロック別連絡会

・他校通級指導教室ブロック別見学会(市内4ブロック毎開催)

・第2回 5月18日(木)

教育課程の編成に関する指導、小中学校校種別連絡会

・第3回 6月15日(木)

大阪府通級指導教室担当者研修の伝達講習、ブロック別連絡会

・第4回 6月29日(木)

講義・演習:子どもの自立をめざした通級指導教室の指導

講師:四天王寺大学教育学部 長澤 洋信 氏

・北河内ブロック通級指導教室実務者会議(年2～3回)

小学校 7月19日(水)、中学校 7月20日(木)

教材・指導内容・アセスメント等の交流

・ことばと発達の学習会 8月2日

課題別事例検討及び交流・講義

・第5回 9月7日(木)

各種夏季研修内容の情報共有、ブロック別連絡会

・第6回 10月12日(木)

実践発表・校種別連絡会

・第7回 11月9日(木)

臨床心理士による子どもへのアセスメントに関する講義

・第8回 12月7日(木)

・第9回 1月18日(木)

・第10回 2月15日(木)

・第11回 3月21日(木)

通級による指導（自立活動）の内容

- (1) 障害特性に応じた学び方の指導
- (2) 社会ルールの確認など社会適応に関する指導
- (3) 円滑なコミュニケーションを取るための指導
- (4) 自己の感情をコントロールする指導
- (5) 発音・発話の指導など構音の改善に関わる指導
- (6) AT（アシスティブテクノロジー）機器を活用した指導

(1) 障害特性に応じた学び方の指導

- ・読み書きに困難を抱える児童がiPadで漢字を調べて使うための指導
 - ・みんなと同じ算数の学び方はできないが、九九を使わなくても掛け算や割り算を学ぶ児童
- ★説明すれば済むことは、解説動画を作成して家庭で視聴できるように配布します

(1) 障害特性に応じた学び方の指導

- ・ みんなと同じ算数の学び方はできないが、九九を使わなくても掛け算や割り算を学ぶ児童

言葉の復唱や丸暗記する学習を苦手とする児童生徒がいます。

たとえば、九九を暗唱できないために、その後の学習に進めなくなってしまうこともありますが、そういった児童生徒も方法を工夫すれば日々の学習に、自分なりの方法で参加することができます。

この児童は、みんなとは違う方法を使いますが、かけ算の筆算やあまりのあるわり算の答えを求め、算数の学習に参加できるよう練習をしています。

動画①

動画②

(1) 障害特性に応じた学び方の指導

- ・読み書きに困難を抱える児童がiPadで漢字を調べて使うための指導

読み書きに困難を抱える児童は、日々の学習の中で「自分でプリントの説明を読めない」ことに困っています。

いつでも教員や支援員に読んでもらえるわけではないため、iPadを活用して、自力で読めない漢字や分からない言葉を調べる方法を指導します。

こうして本人が身につけたスキルは、学校を卒業し、社会に出た時にも役立ち、児童生徒が「自分でできる」という気持ちを育てます。

動画③

(2) 社会ルールの確認など社会適応に関する指導

- ・ 対人関係のスキルを獲得し、安心して社会生活を過ごすための指導

他者との関わり方に不安を抱える子どもたちや、人間関係のトラブルの多い子どもたちは、実際にトラブルになった後に話し合いを行っても、状況を客観視できていなかったり、どうすればよかったのかわからなかったりすることがあります。

動画④

教職員のロールプレイや映像による良い例や悪い例の学習を通して、対人関係を円滑に過ごすことができるようなスキルを知って、練習して、実生活に生かしていけるよう、取り組んでいます。

動画⑤

(2) 社会ルールの確認など社会適応に関する指導

- ・ 対人関係のスキルを獲得し、安心して社会生活を過ごすための指導

他者との関わり方に不安を抱える子どもたちの中には、メタ認知能力が低く、自分を客観視できていない場合が考えられます。動画のように人形同士の会話の中から、課題を見つけ、ソーシャルスキルとして獲得していく方法も有効です。

動画⑥

その上で支援教育支援員が似たような状況に居合わせた場合には、本人へ声かけを行い、支援していくことで、対人関係のトラブルの減少や、いじめの防止につながります。

(3) 円滑なコミュニケーションを取るための指導

- ・ 日本語と手話を併用してコミュニケーションしたり絵本を読む
- ・ 相手にわかるように話を伝えるための言語指導

(3) 円滑なコミュニケーションを取るための指導

- ・ 日本語と手話を併用してコミュニケーションしたり絵本を読む

ろう・難聴など、日本語や手話の指導を必要とする子ども達があります。

日本語や手話言語を学習することで、通常の学級で周囲の仲間や教員とコミュニケーションができるようになり、学校生活をより豊かなものとしします。

こちらのお子さんは、日本語の音声だけを聞いて学ぶことには困難がありますが、手話を手掛かりに日本語を学び、相手に伝える手段を増やしています。

動画⑦

(3) 円滑なコミュニケーションを取るための指導

- ・相手にわかるように話を伝える・高度な学習言語を使用するための言語指導

日常的なやり取りには問題がないように見えて、授業の中で使用される難しめの言葉の使用に困難がある児童生徒がいます。

時系列に沿って話す、因果関係、登場人物の心情を推論するなど、教科学習の内容をしっかりと理解するために必要となる言語運用能力を身につけるための指導を行います。

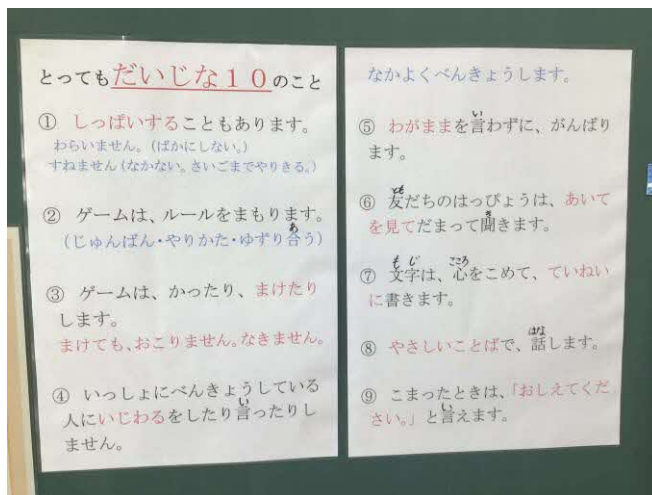
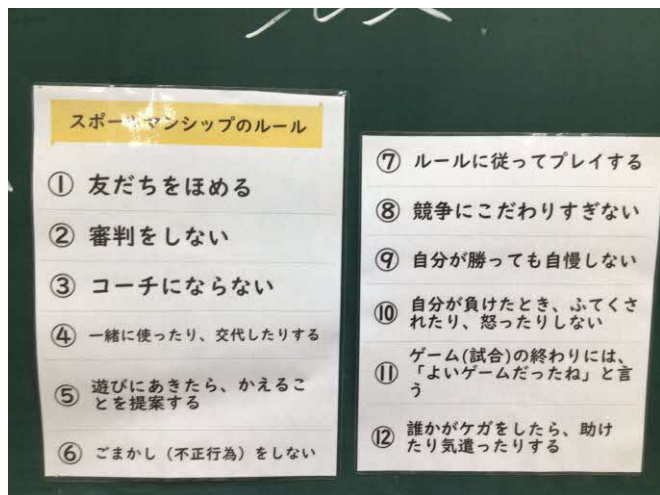
これらの取り組みを行うことで、授業で話される高度な内容を理解したり、グループでの話し合い活動に参加したりする力を育てます。

※ご家族の体調不良により、オンラインで指導をしています

動画⑧

(4) 自己の感情をコントロールする指導

・ゲーム遊びやスポーツでの勝った経験や負けた経験を通して、自己の感情をコントロールする練習を行ったり、イライラした気持ちを落ち着かせるルーティンを身に付けたりすることで、通常の学級での対人関係のトラブルの減少をめざしています。（動画なし）



(5) 発音・発話の指導など構音の改善に関わる指導

- ・手の動作によって拗音の発音ルールを練習する様子①～②

言語指導動画2本あり

(5) 発音・発話の指導など構音の改善に関わる指導

- ・手の動作によって拗音の発音ルールを練習する様子①～②

発音や発話の困難は、日々のコミュニケーションや文字の学習にも悪影響を及ぼします。

そういった影響や、周囲からのからかいなどの問題が起こる前に、構音の指導によって改善を目指します。

このお子さんは、「きゃ・きゅ・きょ」といった拗音を文字通り「きや・きゆ・きよ」と読んでしまうため、手の動作などをヒントに「ひねる音」のイメージを身につけていきます。

上は開始直後、下はおよそ1カ月後の様子。

動画⑨

動画⑩

(6) AT（アシスティブテクノロジー）機器を活用した指導

- ・ 読みに困難を抱える児童が音声ペン教科書で音読の宿題に取り組む
 - この後、音声ペン教科書からデージー教科書に切り替え、読むトレーニングの効果も上がったため、現在は通常の教科書を使用しています
- ・ 難聴を抱える児童が、音声認識字幕を使用して自身に必要な情報保障を体験する
 - この後、保護者から在籍校に対して合理的配慮としての字幕による情報保障の相談があり、市教委からの機器貸与によって音声認識字幕が導入されています

(6) AT（アシスティブテクノロジー）機器を活用した指導

- ・読みに困難を抱える児童が音声ペン教科書で音読の宿題に取り組む

読むことに困難を抱える児童には、もちろん文字を読むトレーニングを行います。

しかし、文字を読めるようになるには時間がかかり、その間にも日々の授業は進んで行きます。

音声教科書のようなATの活用は、子ども達が日々の学習を理解することを助け、自分なりの方法で学習できることや、もっと自分でできることを増やしたいという想いを育てることにつながります。

動画⑪

(6) AT（アシスティブテクノロジー）機器を活用した指導

難聴を抱える児童が、音声認識字幕を使用して自身に必要な情報保障を体験する

学習活動への参加に困難がある時、必要な合理的配慮を要請することとなりますが、本人が必要な配慮について知らなければ、要請することはできません。

このお子さんは、英語の学習に不安を抱えていましたが、音声認識字幕生成ツールを体験したことで、「自分は字幕さえあればより良く授業に参加できる」と自信をつけ、在籍校に配慮要請を行いました。

市教委からの機器貸与もあり、中学校入学時も、同様のツールを導入していただきました。

動画⑫

LITALICO教育ソフトの活用

4つの分野からアセスメント

- トップ
- 児童生徒基本情報
- 帳票作成
- 保護者アンケート
- アセスメント
- プロフィールシート
- 個別の教育支援計画
- 年間評価・引継ぎ
- 個別の指導計画



なまえ

性別 男

生年月日 2011/04/02

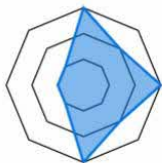
所属 特別支援学級：あおぞら学級 通常の学級：5年・3組

児童生徒基本情報を編集

閉じる

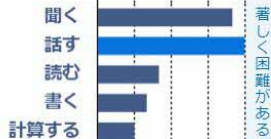
りたりこ 太郎さんの願い： サッカーを頑張りたい。将来はサッカー選手になりたい。

感覚・運動面の困り



最終更新 2023/09/22 15:34

学習面の困り



最終更新 2023/06/20 21:29

行動面の困り



最終更新 2022/04/13 10:22

スキルの習得状況

- 学習 ★振り返る
- 生活 ★整理整頓・持ち物管理
- 対人 ★他者へのリアクション
★質問の理解・応答

最終更新 2022/04/13 11:55

分野ごとに質問に回答

アンケート回答							編集
アンケートの主回答者：						教員 / 保護者	
ID	設問	よくある	ときどきある	まれにある	ない	保留	
01	聞き間違いがある（「知った」を「行った」と聞き間違える）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	
02	聞きもらしがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	
03	個別に言われると聞き取れるが、集団場面では難しい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	
04	指示の理解が難しい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	
05	話し合いが難しい（話し合いの流れが理解できず、ついていけない）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	
06	適切な速さで話すことが難しい（たどたどしく話す。とても早口である）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	
07	ことばにつまったりする	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	
08	単語を羅列したり、短い文で内容的に乏しい話をする	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	

全 025 問中 保留中 000 問 保留項目を出力 回答済み 025 問 結果を確認

回答結果はソフトが分析

例) 授業中、クラスをすぐに飛び出してしまうAさんの場合

▼「感覚と運動面の困りに関するアンケート」を実施した結果



視聴覚の過敏さが原因で、教室に居づらくて飛び出してしまうのかもしれません。

▼「スキルの習得状況を見るアンケート」を実施した結果



自分の苦手なことや環境について周りに伝えられるスキル (ヘルプ発信スキル) が身につけておらず、教室を飛び出すという行動になってしまうのかもしれません。

個別の教育支援計画として出力

保護者参画のもと、一人一人の教育的ニーズを正確に把握し、**長期的な**視点で就学前から学校卒業後までを通じて一貫して的確な教育的支援を行うための計画。

個別の教育支援計画

作成者：子ども課長
作成日：2022年4月9日

児童生徒基本情報		
児童生徒氏名	性別	生年月日
ありこま ありこま	男	2012年04月23日
登録住所		
住所	学年	授業の種別
ありこま市	小学2年	普通
学年	学年	担任
小学2年	小学2年	宇田川 先生
関係者		
保護者	特別支援コーディネーター / 指導教員	

親		
児童生徒本人の親	サッカーを練習したい、指導はサッカー選手になりたい	保護者の願い
		お友達と楽しく遊びたいという思いがあるため、特に、お友達と遊ぶことができないように感じている。

児童生徒の実情	
児童生徒の得意なこと	運動(走る事が好きです)、いじめを人に知らせること
得意なこと、得意なこと	外食してご飯を食べること、人の話を聞くことが好き
学習での得意なこと	読書を動かすのが好きです、授業中に疑問に思ったり疑問に思ったりして質問することがあります
得意なこと、得意なこと	読者の気持ちや登場人物の気持ち、登場人物の気持ちや登場人物の気持ち

個別の教育支援計画

作成者：子ども課長
作成日：2022年4月9日

実施の目標	
長期目標	自分の授業についての理解を深め、生活する上で適切な行動や対応方法を学ぶことが、読書や学習、遊びに役立て、生活に必要な。
短期目標	

↑

実施の目標に向けた、実施の内容	
児童生徒の得意なこと	得意なことに興味を持って、遊びたいという思いがあるため、特に、お友達と遊ぶことができないように感じている。
児童生徒の得意なこと	お友達と楽しく遊びたいという思いがあるため、特に、お友達と遊ぶことができないように感じている。
児童生徒の得意なこと	お友達と楽しく遊びたいという思いがあるため、特に、お友達と遊ぶことができないように感じている。

【2022年度】のたごころあそびかん アセスメント結果	
児童生徒の得意なこと	運動(走る事が好きです)、いじめを人に知らせること
得意なこと、得意なこと	外食してご飯を食べること、人の話を聞くことが好き
学習での得意なこと	読書を動かすのが好きです、授業中に疑問に思ったり疑問に思ったりして質問することがあります
得意なこと、得意なこと	読者の気持ちや登場人物の気持ち、登場人物の気持ちや登場人物の気持ち

本人の課題に応じた教材の出力

The screenshot shows the UTMARCS 'まなび教材' (Learning Materials) interface. The top navigation bar includes 'まなび教材' and 'マイメニュー'. Below, there are sections for '算数' (Mathematics), '国語' (Language), and '生活' (Life). The '国語' section is expanded to show 'のぼしたい力' (Targeted Skills) with sub-sections like '身辺自立/生活の自立' (Self-reliance/Life independence) and '数理的処理/問題解決思考' (Mathematical processing/Problem-solving thinking).

「気持ちの温度計」で今の気持ちをモニタリング



ねらい

自分の気持ちの変化に気づく

こんなお子さまにおすすめ

- ✓ 自分自身の気持ちを言葉で表すことができない
- ✓ 自分の気持ちの変化に気づいていない

授業・教員研修で活用できる動画

▼ 先生方によく視聴されている動画



▼ 校内研修で使える研修セット

